

葉山町の未来のためのグランドデザインを策定・宣言することの陳情書

陳情趣旨

葉山町制施行100年の節目に当たり、来る次期100年の展望として、葉山町の「新しいまちづくりのためのグランドデザイン」を策定し、その宣言をすることを強く陳情いたします。

陳情理由

葉山町は、2025年1月に町制施行100年を迎えます。この100年、時代は激動の昭和より年号も平成、令和と移り変わってきましたが、葉山町は御用邸のある落ち着きある特別な町としての品位と価値を維持してきました。しかし、近年のIT技術の発達によるネットワーク社会の到来と世界の急速なグローバル化、そしてエネルギー問題、人口の減少などにより旧来の価値感と方法論の維持と推進は非常に難しい状況になっており、これからはそれらへの対応力が大きく試される時代になるでしょう。

来る次期100年、葉山町はどのような町として存在し、発展し熟成して行くべきか？ 町民、有識者より意見を広く募り、議会と行政主導で、実効性のある葉山町の次期「新しいまちづくりのためのグランドデザイン」の策定と内外に向けてその宣言を行い、葉山町のまちづくりにおける覚悟を示すことが重要と考えます。

これからの葉山町は、温故知新でレガシーとして後世に残すべきものは大切に継承し、町と自然のベストバランスを保った美しい景観の保護と、量から質へ、町民の上質な暮らしの熟成の実現を究極の目標と位置付けるべきです。

現在のSDGsの取り組みをさらに一步踏み込んで進めることはもちろんのこと、子育て・教育の充実、老後の安心、そして過去の価値観からの安易な開発推進を反省し、誰もが住みたくなる町「葉山」を本当の意味で実現する道筋をその中に具体的に示し、今後の町政実施のブレないガイドラインとすることを目的とします。

R5.8.31

